

岸田政権の課題

TBSスペシャルコメンテーター

星 ほし

ひろし

- * 難題抱える岸田政権
- * 国葬問題の躓き
- * 総理としての資質に疑問
- * 単純には終わらない旧統一教会問題
- * ウイズコロナ時代の法整備
- * 焦点は防衛費増額
- * 難しい対中関係
- * 五輪疑惑は第二幕へ
- * ネットがメディアの主役に
- * 重い政治の責任



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日はおなじみの星さんにおいていただきませした。改めてご紹介の必要もないかもしれませんが、1955年のお生まれで、東京大学を卒業後、朝日新聞社に入られ、政治を中心に活躍をされ、現在はTBSのニュースでコメントーターをされておられます。

参院選で自民党が圧勝いたしましたして、政治もここしばらく静かかなと思っておりますが、あに凶らんや、旧統一教会の問題、それから最近の様々な、特に国葬をめぐる問題ですね。岸田政権の支持率も急落するという状況になっております。今日はそういった状況について、われわれの知らないところを含めて星さんにじっくりお話をさせていただきたいと思えます。

それでは星さんよろしく願いたします。（拍手）

難題抱える岸田政権

星 皆さんこんにちは。ご紹介を受けました星でございます。

私ももう60後半を過ぎましたが、今ご案内があったようにずっと政治記者をやってまいりました。去年はコロナがあつて、菅総理大臣が退陣をして岸田さん総理大臣になって、ばたばたして、総選挙があつて岸田さんがかろうじて勝ちました。今年の参議院の選挙が終わると、皆さんご存じのように、後、国政選挙はしばらくないと。世情「黄金の3年間」で政策中心に議論されていくのではないかと変わっています。